

# INTERVAL™ 2000

取扱説明書

## 各部名称



### ボタン

ボタンの機能は、本体に記載されている通りです。黄文字の機能を使用する際は、そのボタンを長押しします。

- 【TC(top center)】: レート[保存]—電源オン[オフ]
- 【TR(top right)】: スタート/ストップ
- 【TL(top left)】: スプリット[クリア]
- 【FL(front left)】: ラップ・累積時間 [次の項目]
- 【FR(top right)】: リコール[リコール解除]

### 画面表示

- 【1】: スプリットタイム  
TLを押したときのスプリットタイム、または累積タイムを表示します。
- 【2】: ランニングタイム  
経過時間を表示します。
- 【3】: レート  
周期的な動作を1分間に何回行うかを表示します。  
(ローイング、水泳、ストライドなど)
- 【4】: メモリーカウンター  
メモリー数を表示します。0~999までカウントできます。

### その他

- 【バックライト】  
周囲の明るさを感知し、暗所でボタンを押すたびに2.5秒間自動で点灯します。スプリットの保存やタイマーの停止をせずにライトだけ点灯させる場合はTCまたはFCのボタンを押してください。  
※ライト点灯中は画面を離し、少し傾けると見やすくなります。本体を固定して使用する場合はご注意ください。
- 【プロテクトカバー】  
衝撃や傷から本体を保護します。未使用時にはカバーをディスプレイ側に付けることで、表示面を保護します。
- 【防水 他】  
本体は2m防水です。また水に浮きます。

## 基本的な操作方法

### 電源をつける

TCボタンを押すと電源がオンになります。

### 電源を消す

TCボタンを長押しすると、電源がオフになります。  
タイマーが停止した状態で20分間放置した場合、またタイマーが動いた状態で10時間放置した場合は、自動的に電源がオフとなります。  
この場合、メモリーデータは保存されます。  
※セッティングの画面を解除してから電源を切るようにしてください。

### 電池交換

本体は【CR2032 リチウム電池】を2枚使用しています。  
フタに近い側がバックライト用、回路に近い側が計測機能用です。  
表示が薄くなってきた時は早めに電池を交換してください。  
電池交換を行うと、保存データは失われますのでご注意ください。

## セットアップ

ご使用前にレートベース、日時、保存方法を設定します。

- ① 電源を入れる。
- ② 表示部3の矢印が点滅するまでFL、FRボタンを同時に長押しします。
- ③ FRボタンを押すごとに点滅している項目が変更されます。
- ④ FLボタンで次の項目へ移動します。
- ⑤ すべての設定完了後、FLボタンを長押しし、セットアップモードを終了します。

<レートベース> 1 or 2 or 3 ※レートベースについては「レートの測定」を参照。



<レート表示> 1分あたりのサイクル数 or 1サイクルあたりの秒数



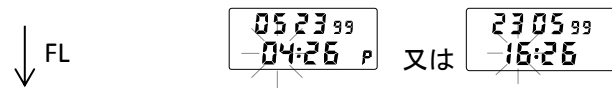
<レート保存> 全レート保存 (ALL) or 任意レート保存 (SEL)



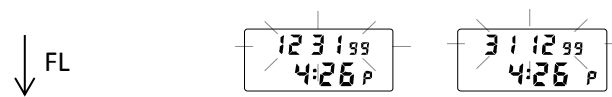
<時計表示> 12時間表示 or 24時間表示



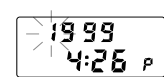
<時計設定> 時間を設定します。



<年月日表示> 月/日/年 or 日/月/年



<年月日設定> 年月日を設定します。



## タイムの測定

<タイムの測定>

- ① TRボタンでタイマーをスタートさせます。
- ② TLボタンでスプリットを蓄積します。
- ③ FLボタンを押すと、表示部1のスプリット表示方法が切り替えられます。  
LAP表示: ラップタイム表示されます。TLボタンを押すと、そのスプリットのラップタイムが8秒間表示されます。  
CUM表示: スタートしてからTLボタンを押すまでの累積タイムが表示されます。
- ④ TRボタンでタイマーをストップします。終了タイムは最後のラップタイムとともに記録されます。  
※注意 タイマーが止まっている状態で再スタートした場合には、ストップ/再スタートタイムは記録されません。スプリットタイムも同様です。

<新しく測定を始める(新しいセグメントの作成)>

新たに測定を始めるには、現在のセグメントを消去するか、新しいセグメントを作成する必要があります。新しくセグメントを作成した場合のみ、現在のセグメントのデータが保存されます。

※セグメントとは保存するメモリー領域のことで、インターバル2000では675個のセグメントを作成することができます。(各セグメント内のメモリー数によって、作成できるセグメントの数は異なります。)

- ① TRボタンを押し、タイマーを止める。
- ② FLボタンを「ピッ」というまで長押しします。  
表示部4に次に使用可能なセグメントナンバーが表示され、その他の部分はすべて0に戻ります。
- ③ 『タイムの測定』方法に従って、同様に測定をしてください。  
データは新しいセグメントに保存されます。

※データの消去方法は後述「データの消去」をご参照ください。

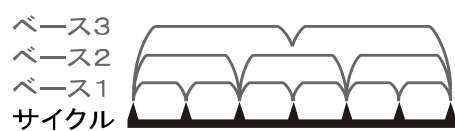
## 日付と時間の表示

使用中にFLとFRボタンを同時に押すと、現在時刻と日付が5秒間表示されます。

インターバル2000では、タイム測定を中断することなく、反復運動のレートを計測・表示することができます。

＜測定＞

- ① 反復運動のサイクルにおいて、任意のポイントでTCボタンを押す。  
(任意のポイントとは、オールや手が入水した瞬間や足が地面に着いた点など)
- ② 選択したレートベースと同数のサイクルを繰り返した後、①と同じポイントでTCボタンを押す。



※レートベースは何サイクルでカウントを行うかを決定するだけのものです。レートベースを変えても測定値に変わりはありません。

- ③ 表示部3にレートが表示されます。

＜レートベースの決定＞

レートベースは前述「セットアップ」に示した手順で設定してください。それぞれ、以下のような特徴があります。

●レートベース1

レートベース1はレートを素早く計測できますが、多少正確さに欠けることがあります。TCボタンをサイクルに合わせて繰り返し押すことにより、正確な測定ができます。あまりに速いサイクルのレート測定には不向きです。

●レートベース2

レートベース2は、レートベース1よりも正確な測定が可能です。多様なレートの測定が素早く行えます。レートベース2は腕の振りや、足の着地といった、左右両側の動きの測定に適しています。

●レートベース3

レートベース3は最も正確にレートを測定できます。ランニングのような速いサイクルのレート計測に適しています。

＜レートの保存＞

レートはレート測定時のタイムスタンプとともに(1秒単位)と共に蓄積されます。保存モードは「SEL」と「ALL」の2種類あります。設定方法は前述の「セットアップ」をご参照ください。

●全保存モード(ALL)

「測定」の手順に従って、レートを測定するだけで、自動的にすべてのレートが保存されます。多数のデータが蓄積でき、レース開始時といった短い時間にも素早く操作・保存が行えます。

●選択保存モード(SEL)

「測定」の手順に従って、レートを測定します。レートを保存したい場合は、レート測定の際に、TCボタンをピッと音がなるまで長押しします。

※注意

- ・ 保存されたレートには順番に番号が付けられます。この番号はスプリット番号とは別につけられますので、スプリットやレートの番号が、実際のラップ数と一致することを保証します。
- ・ タイマーが停止している状態では、レートの測定はできますが、保存はできません。
- ・ レート計測中に10秒以上操作がないと、レート用のタイマーは自動的にリセットされます。測定可能な最低レート、及び最長サイクル長は次の通り。  
レートベース1 : 6/分 or 9.99秒/サイクル  
レートベース2 : 12/分 or 4.50秒/サイクル  
レートベース3 : 18/分 or 2.25秒/サイクル
- 操作しない状況が10秒以内であれば、タイマーのリセットはされませんが、その間の時間も次のレート計測時間に含まれてしまいます。全保存モードでご利用の場合、このレートも保存されますので、記録呼び出しの際にはご注意ください。
- ・ NKのクロノストロークをお使いの皆さまへ  
インターバル2000のレートベース1はクロノストロークの1ストロークモードとは違い、TCボタンを押す度にレートが更新されます。また、レートベース1は“AUTO”モードとも違います。インターバル2000は多種のレートサイクルを平均化しません。そのため、インターバル2000のレート表示部をゼロに戻す必要はありません。(ゼロにはできません。)

データの呼び出し

保存されたデータはいつでも呼び出すことができます。タイマー稼働中に呼び出しをした場合でも、その間内部でタイマーは動き続けています。ただし、タイマー稼働中に呼び出せるメモリーは現在使用中のセグメントのデータのみです。その他のセグメントのデータはタイマーを止めた状態で、次の手順に従って、呼び出しを行ってください。

＜タイマー稼働時のデータ呼び出し＞

- ① FRボタンを押すと、保存されたデータが表示部1に表示されます。タイマー稼働中は、現在使用中のセグメントに保存されているデータのみ、確認ができます。FRボタンを押す度に、保存されているデータが新しいものから順に表示されます。
- ② データ呼び出し画面を終了する時はFRボタンを長押ししてください。(または、TL、TC、TRのいずれかのボタンでも呼び出し画面は終了します。)

＜タイマー停止時のデータ呼び出し＞

- ① FRボタンを押すと、一番新しいセグメントのデータが表示されます。
- ② FRボタンを押すごとに保存されているデータが1から順に表示されます。
- ③ FLボタンを押すと、別のセグメントに移動します。
- ④ データ呼び出し画面を終了する時はFRボタンを長押ししてください。(または、TL、TC、TRのいずれかのボタンでも呼び出し画面は終了します。)

リコール画面	0:12'49" 37	トータルタイム (total)
表示内容	と 0 t AL	セグメントナンバー
04 15 99	測定日時	0:02'07" 36
4:29 P	測定開始時間	ベストラップタイム (best)
2	セグメントナンバー	2
0:02'17" 59	ラップタイム	0:02'16" 40
0:02'17" 59	累積タイム	平均ラップタイム (AVE)
1	スプリットナンバー	2
0:02'19"	タイムスタンプ	
32	レート	
1	レートナンバー	214
		メモリー使用数

データの消去

＜現在のセグメントデータの消去＞

- ① TLボタンを長押しします。
- ② “CLEAR SEG”と表示され、「ピッ ピッ ピー」の音がなったところで指を離します。
- ③ 表示がすべてゼロになり、そのセグメントに新たにデータを保存できる状態になります。

＜全セグメントデータの消去＞

- ① TLボタンを長押しします。
- ② “CLEAR SEG”と表示され、「ピッ ピッ ピー」の音がなっても指を離さず、押したままにします。
- ③ “CLEAR ALL”と表示され、「ピッ ピッ ピッ ピー」の音がなったところで指を離します。
- ④ 表示がすべてゼロになり、セグメントナンバーは1に戻ります。

＜特定のセグメントデータの消去＞

- ① FRボタンを押し、データ呼び出し画面を表示します。
  - ② FLボタンで、消去したいセグメントに移動します。
  - ③ TLボタンを長押しします。
  - ④ “CLEAR SEG”と表示され、「ピッ ピッ ピー」の音がなったところで指を離します。
  - ⑤ 選択したセグメントデータが消去され、次にデータを保存できるセグメントが表示されます。
  - ⑥ 別のセグメントを消去する場合は、①～⑤の操作を繰り返してください。
- ※ 多数のセグメントがある場合、中間のセグメントを削除すると、その後にあるセグメントナンバーは前に詰められます。  
例: No.5を削除 → 元No.6がNo.5に、元No.7がNo.6になります。

製造・販売

製造元

Nielsen-Kellerman  
21 Creek Circle · Boothwyn, PA 19061, USA



販売店

桑野造船株式会社  
〒520-0357 滋賀県大津市山百合の丘10-1  
TEL 077-598-8090 FAX 077-598-2505 kuwano@k-boat.co.jp